

リサイクル計画書（詳細設計）

1. 設計概要

発注機関名	
委託名	
履行場所	
設計概要等	
工事着手予定時期	

2. 建設資材利用計画

建設資材	① 利用量	② 現場内利用可能量	③ 再生材利用可能量	④ 新材利用可能量	⑤ 再生資源利用率 (②+③)/①×100	備考
土 砂	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	%	
砕 石	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト混合物	トン	トン	トン	トン	%	
	トン	トン	トン	トン	%	

※最下段には、その他の再生資材を使用する場合に記入する。

3. 建設副産物搬出計画

建設副産物の種類	⑥ 発生量	⑦ 現場内利用可能量	⑧ 他工事への搬出可能量	⑨ 再資源化施設への搬出可能量	⑩ 最終処分量	⑪ 現場内利用率 (⑦/⑥×100)	備考
建設発生土	第1種 建設発生土	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	%	
	第2種 建設発生土	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	%	
	第3種 建設発生土	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	%	
	第4種 建設発生土	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	%	
	汚土（浚渫土）	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	%	
	合計	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	地山 m ³	%	
コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	トン	%	
アスファルト・コンクリート塊	トン	トン	トン	トン	トン	%	
建設発生木材	トン	トン	トン	トン	トン	%	
建設汚泥	トン	トン	トン	トン	トン	%	

※建設発生土の区分（既存資料から判断するものとする。）

①第1種建設発生土：砂、礫及びこれらに準ずるもの。

②第2種建設発生土：砂質土、礫質土及びこれらに準ずるもの。

③第3種建設発生土：通常の施工性が確保される粘性土及びこれらに準ずるもの。

※建設発生木材の中には、伐除根材及び剪定材を含む。

※利用・搬出可能量は、現時点で算出可能なものを記載する。

※建設副産物の搬出計画について、基本的には全量を再利用することを原則として計画する。

④第4種建設発生土：粘性土及びこれらに準ずるもの。

⑤汚土（浚渫土）：浚渫土のうち概ねqc2以下のもの。